

# 第三話

# 館にて



原作 Howling

漫画 あさぎり





そんな風に  
いじられたら…  
あぁっ！

あはあ

自分の身体に  
コレがあるなんて  
とっても素敵

くちゅ  
くちゅ

いいのよ 晴樹君  
いっぱいヨガって

その方が私も  
気持ちいいから

ねえ 一回  
イッても  
いいかしら？

「いいかしら？」って  
僕に主導権なんて  
ないのに

がらんっ

……って  
あああっ！！

ぎゅっ

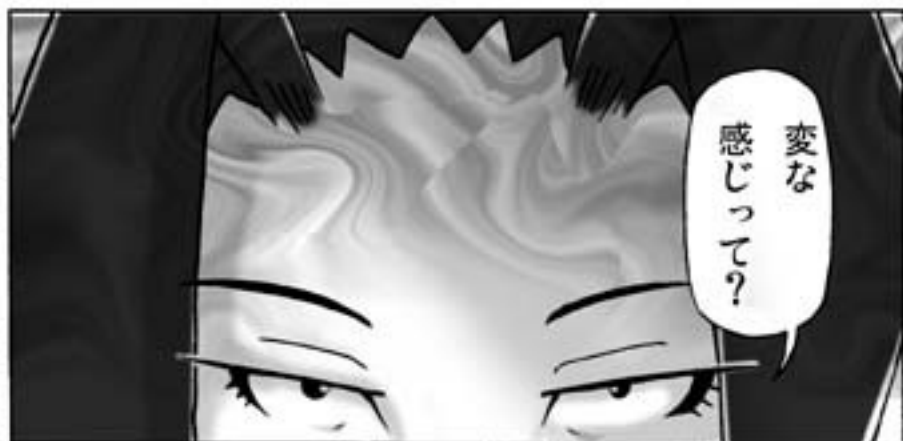
ああん  
いいっ  
いいわあ

私 おかしく  
なっちゃう！







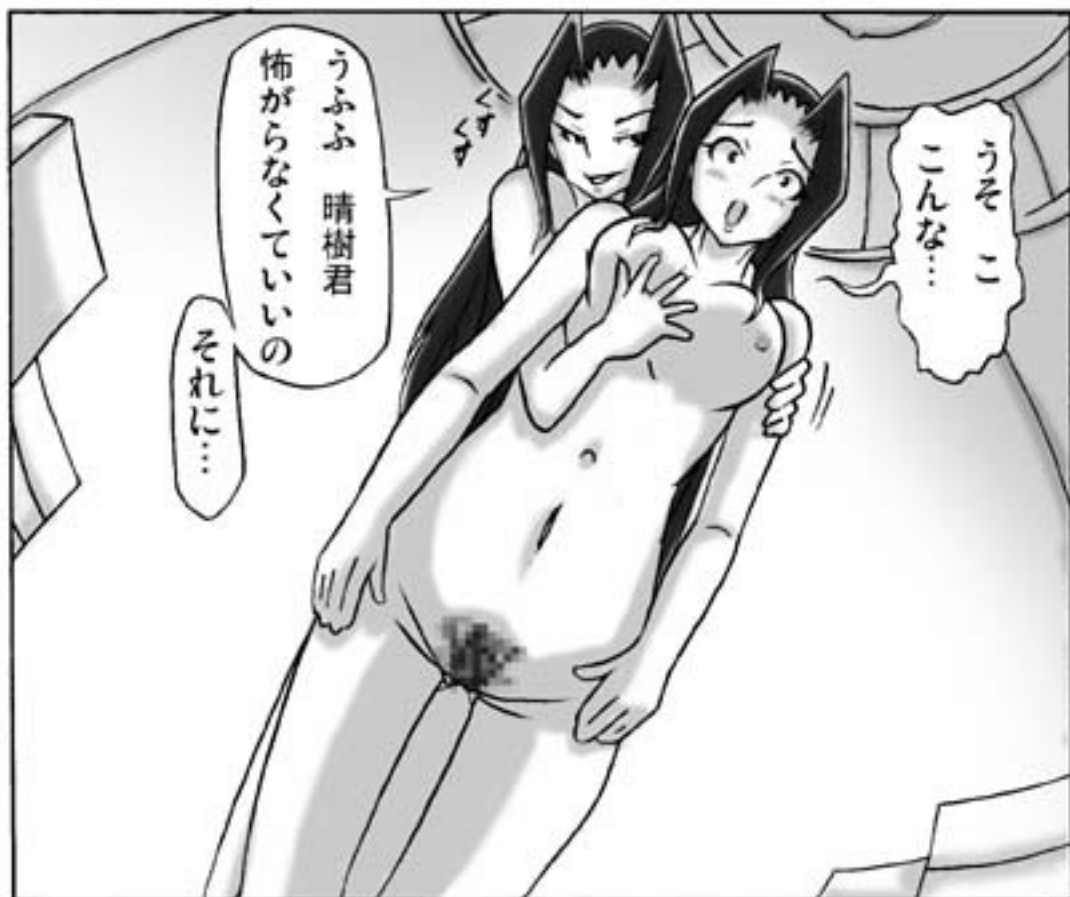
























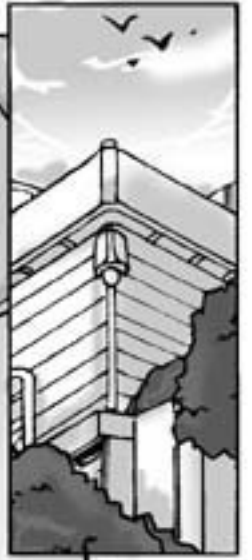




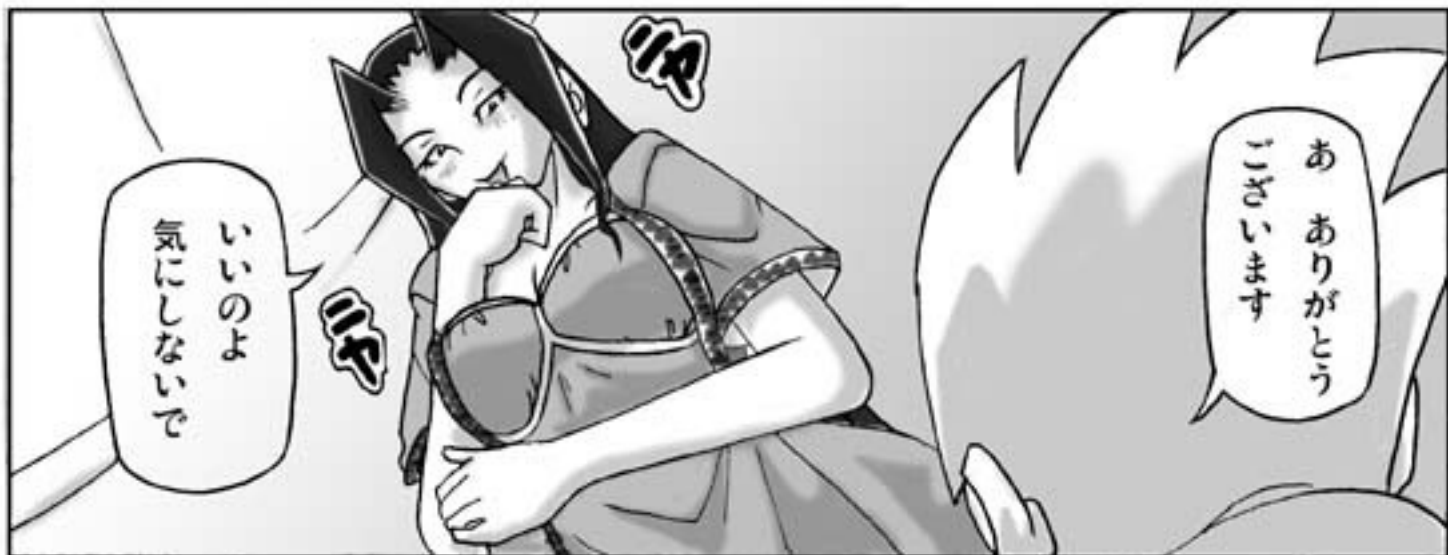












あ ありがとう  
ございます

いいよ  
気にしないで



そうよね  
口調まで私に  
なってるんだもの

ん

ぞくぞくしたわ

あの  
優子さん…



で どうだった  
私の身体？



とんでもなく  
気持ち  
よかった…です

そその



聞いても  
いいですか

優子さんが  
僕をどう  
したいのかを



最近  
不安なんです

普段の生活じゃ  
ありえない事が  
続いてて

このままじゃ  
優子さんに  
飲み込まれて

消えちゃうの  
かなって…



どう言う  
意味かしら？



上手く言えない  
ですけど

しあ



晴樹君  
安心して

私は別に君を  
食べたりなんて  
しないわよ

むしろ逆だわ



逆？

ええ 久しぶりに  
相性のいい中身に  
出会えたんですもの

食べるどころか  
君の為なら  
私の全てを  
差し出したいわ

はあ…



特に自分相手に  
セックスした時  
それを強く  
感じたわ



だから  
館にいる間は  
協力して欲しいの

私でいるって

私「と」じゃ  
無いのかな？

ああ なる程  
私の姿でって  
事か…



わかりました  
僕でよければ

嬉しい 君なる  
そう言ってくれると  
思ってたわ



…



女のエッチも  
楽しめるモンね♡

…  
(///)



優子さんになるの  
嫌じゃないし…

それから僕が  
優子さんでいる  
日々が始まった

もい

もい

ちよっと！  
「さん」じゃなく  
優子でしょ

あの……  
優子さん

今は君も  
私なんだから  
敬語なんて変

お互い  
自分自身

だから  
遠慮なく  
して欲しいな

わかりま……  
ううん  
わかったわ

じゃ 今日も  
私同士で  
愛し合いましょ

……ええ



館に入り浸って  
彼女の姿で情事を  
繰り返した



この頃から  
自宅に戻る事は  
ほとんど無く



そして女の身体が  
もたらす快感に  
いつしか僕は



人物になった  
錯覚に陥っていた



目の前にいる  
宮城優子と言う





最後までって…  
ゆずっ!?



まにゅ

まさかの  
オッパイ乗せ

うわ  
柔らかえ



けど これが  
プレゼント  
なのかな?

気持ち良すぎて  
何も考えられ  
ないや



それじゃ  
私から最後の  
プレゼント

受け取って  
もらえるわよね  
晴樹君

おかげでやっと  
思い出せたわ

私は永遠の若さと  
美貌を引き換えに  
皮になったんだ

ただ その代償に  
館以外では  
動けずにいたの

それで今まで  
色んな男のコを  
招き入れたけど

中身になる様な  
相性のコには  
ずっと会えなくて

だから君には  
本当に感謝してるわ  
だって…やっと

ああ やっとこれで  
この館から旅立つ事が  
出来るんだから…

そして、おめでどう  
これでこの館は  
全てあなたのモノよ

君にはもう中身ではなく  
私そのものになってもらったわ

始めは戸惑う事も多いと思う  
けど心配しなくていいわ

その身体でならいくらでも  
生き続けられるから

……。

あの……  
優子さん

もう一度  
いいですか

言ってる  
意味がよく……

だから  
望みどおり

これからは君が  
この館の女主人に  
なるのよ









わあああ



ああーっ!!



私は結局『皮』

館の外に出るには中身が  
どうしても必要なの



なっ なあっ  
何だよ コレ!?



あっ  
ああっ...

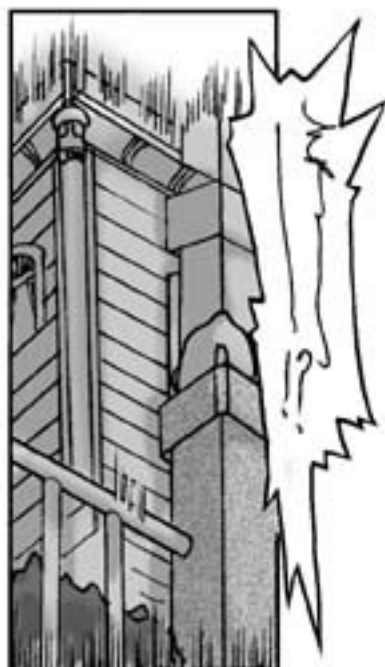


はあ



やっぱり夢じゃ  
無かったんだ

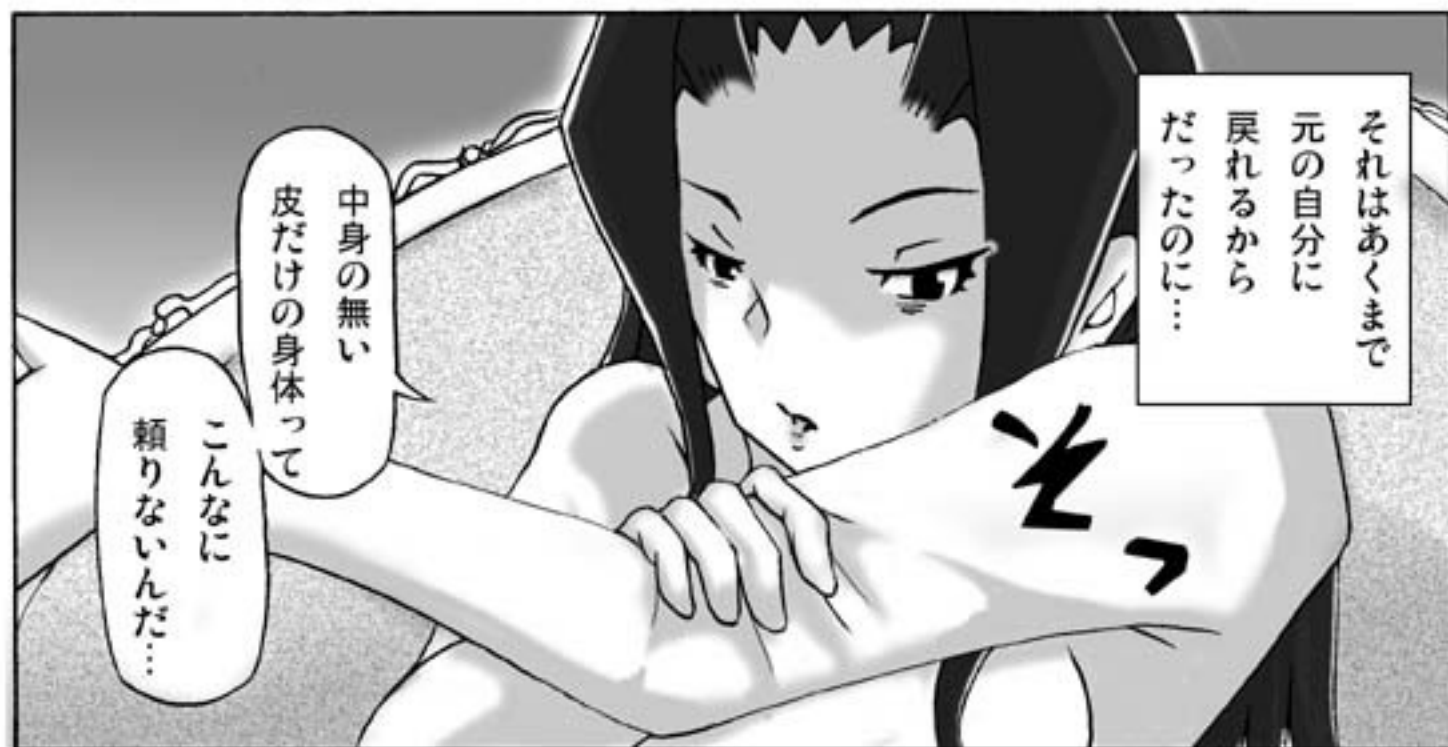
くっ…



確かに優子さんにな  
りたいとは  
言ったし

彼女の姿でいるのは  
楽しかったけど

それはあくまで  
元の自分に  
戻れるから  
だったのに…



中身の無い  
皮だけの身体って

こんなに  
頼りないんだ…

優子さんもずっと  
こんな気持ちで  
過ごしてたのかな

自らの全てを  
僕に引き継がせ  
消えてしまった

元の彼女が  
どこに行って  
しまったのかは

今となっては  
尋ね様も無い

別に君を食べたりしない  
私の全てを差し出したい

言われた言葉に  
嘘は無かったけど

まさかこんな事に  
なるなんて  
思いもしなかったな





はあ〜  
やっぱダメだ

全然濡れないし  
気持ちよくも  
ならないや



抜け殻の身体じゃ  
何の刺激も感じない



少しは楽しめると  
思ってたのに



せめてオナニーで  
前みたいな絶頂を  
迎えられれば



やっぱ中身が  
必要なんだ

今の状態では  
どうする事も  
不可能で

あれから僕は  
館から出ようと  
様々な方法を  
試してみたが

はあ

はあ



改めて自分が皮だけの  
存在になったと  
思い知らされ  
たのだった

自分の中に  
他人を入れるのは  
抵抗あるけど

あの快感は  
捨て難いしな

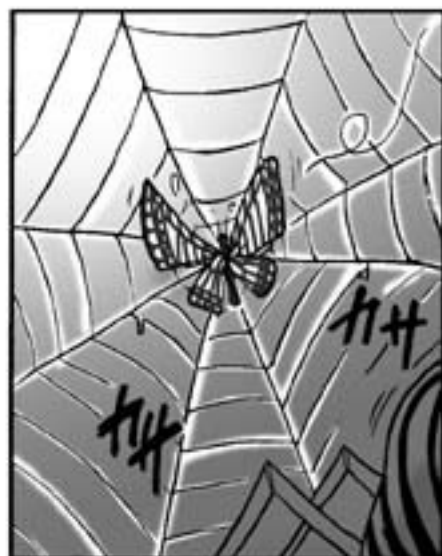


まあ別に  
焦る事はない

しばらくは  
この女の姿を  
楽しむとするか

おっと  
誰か来た





若い男は消える

館を支配する  
女に魅入られた



# あとがき

どうもご無沙汰いたしております、あさぎりです。  
色々と大変なご時勢ですがお加減は如何でしょうか？

まずはこの作品に関してお知らせとお詫びなんぞを。

まことに勝手ながら漫画『館にて。』私の我儘で、  
このお話を持って完結とさせて頂きました。  
原作の漫画化を期待されていた皆様には申し訳ございませんが  
これも一つの可能性と言うかアナザーストーリー的な  
感じでお楽しみいただけましたら幸いです。

個人的にどうしてもループ的なラストが描きたい衝動に駆られ、  
気がつけば原作と離れた形になってしまいましたが、  
発表を快諾してくれた Howling さんには感謝です。

そして組ませていただいた経験はとても勉強になりました。  
ホントにありがとうございます。

最後にだんだんと執筆ペースが落ちながらも、  
年内に作品描き上げる事が出来て内心ほっとしている私を  
どうか引き続きよろしくお願い致します（笑

では次回作でまたお会いしましょう。

あさぎり (◡‿◡)



あさぎり  
Howling